

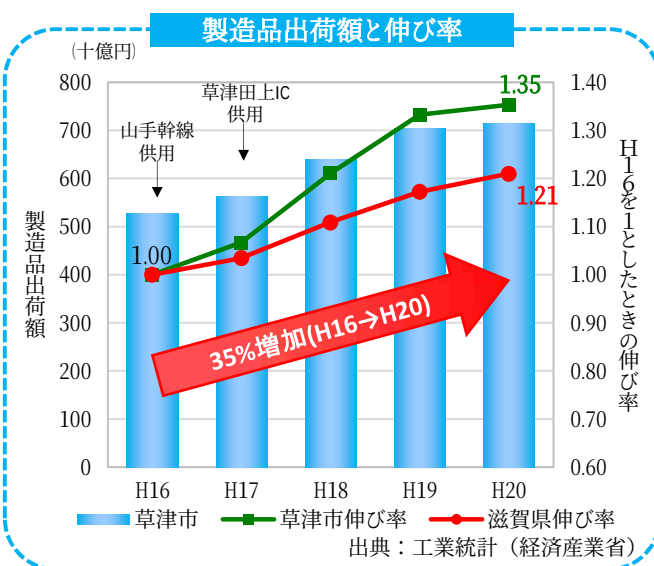
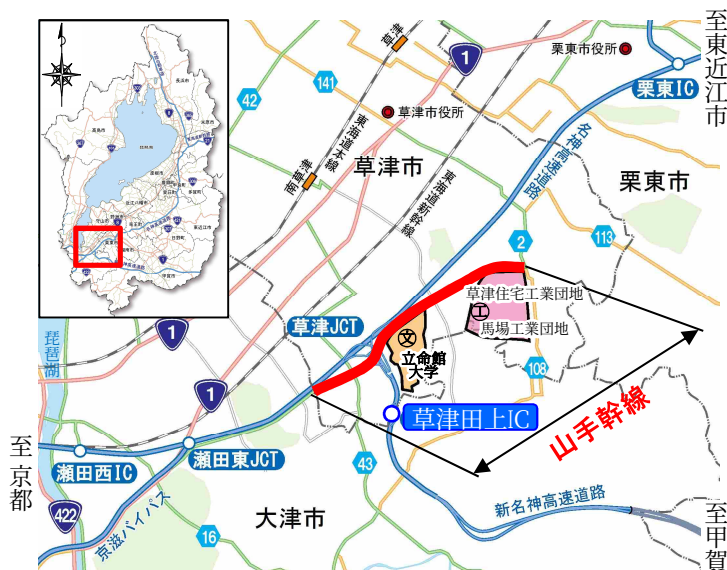
未来を拓く道づくり

整備事例

新規ICの供用に合わせたアクセス道の整備が
企業立地を促進 ～山手幹線(草津市)～



- ・混雑する県南部地域に新たな幹線道路を整備
- ・高速道路へのアクセス性の良さを背景に製造業を中心に企業立地が促進
- ・製造品出荷額が35%増加



立地企業の例



地域の声



(製造業)

- ・山手幹線や草津田上ICの供用に合わせて草津工場を開設しました。
- ・京都方面へ行く際、国道1号、名神高速ICの混雑状況を見て山手幹線経由で京滋バイパスを利用しています。
- ・以前、雪の影響で京都方面への道が全て利用できなくなったため、自然災害や大火災等の緊急事態の対策としても迂回路の確保が課題となっています。
- ・栗東方面へ行く際、国道1号は慢性的な混雑、その他の一般道は周辺住民の迷惑になるので短距離でも名神高速を利用しています。